



肥薩おれんじ鉄道株式会社

代表取締役社長 古森 美津代

## 地域とともに走る肥薩おれんじ鉄道

肥薩おれんじ鉄道をご存知ですか？八代駅（熊本県）～川内駅（鹿児島県）間を運行している第三セクター鉄道です。2004年3月九州新幹線の部分開業に伴い、JR九州から弊社に移管された旧鹿児島本線です。本年3月で開業20周年を迎えました。

開業以来、お客様の約7割を占める沿線高校生・高専生の通学手段となっています。毎年、4月になると真新しい制服姿の新生者が乗車してきます。暫くして、列車内で教科書を開く姿を見かけるようになると、定期試験の時期です。朝夕に駅が閑散としてくると長期休暇です。休暇中も、部活動などで登校する生徒を見掛けます。そして、梅が開き、陽射しが暖かくなると、卒業生を送り出します。列車は、生徒の成長と季節の移り変わりを運んでいるのです。

ただ、沿線地域の少子高齢化に伴い、通学生数は減少傾向にあります。将来にわたって通学生の足を守るためには、沿線地域外からも多くのお客様を呼び込み収入を増やしていく必要があります。

肥薩おれんじ鉄道は、熊本県の南部から鹿児島県の北部の海岸線沿いを走っていますので、九州西海岸の「海」と「夕陽」が魅力、売りです。そこで、海の景色を眺めながら地元の素材を活かした料理を楽しんでいただく「観光列車 おれんじ食堂」を2013年3月に導入しました。レストラン列車の先駆けです。列車は2両編成で、車内の座席は全て海側を向いています。内海の不知火海と外洋の東シナ海という表情の異なる海の景色と、四季折々のお料理をゆったり、のんびりと楽しんでいただけます。

さらに、日常的に列車を楽しんでいただくため、ラッピング列車を通常ダイヤ以降は会員専用ページにて公開しております。ラッピング列車、開業20周年記念のディーゼルガールスラッピング列車が走っています。おれんじ食堂やラッピング列車が走っていると、沿線住民の方々が手を振って「振り鉄」の方々が増えており、お客様にとっても喜ばれています。

このように、沿線住民の方々と手を携え、日々列車の運行を行っています。熊本県内には、南阿蘇鉄道・くま川鉄道と弊社の3社の第三セクター鉄道が運行されています。沿線は異なりますが、旧国鉄やJR九州が運行していた線路の一端を担って運行に貢献することができます。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)